

平成27年度全国学力・学習状況調査について

4月21日（火）に、中学校3年生を対象として、「平成27年度全国学力・学習状況調査」が行われました。内容については国語A、国語B、数学A、数学B、理科の教科に関する調査と、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査が実施されました。このほど、その調査結果が発表されましたので、国語、数学、理科の教科についてご報告いたします。なお、全国、広島県の結果は公立学校のものであります。（Aは主として知識、Bは主として活用）

各教科の平均正答率（％）

国語						数学						理科		
A問題			B問題			A問題			B問題					
国	県	本校	国	県	本校	国	県	本校	国	県	本校	国	県	本校
75.8	76.5	92.4	65.8	67.0	81.6	64.4	64.6	90.9	41.6	42.7	73.3	53.0	52.2	78.5

本校の定着状況と課題

国語

【領域ごとの定着状況】

国語A

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	本校
話すこと・聞くこと	79.7	80.5	97.4
書くこと	73.6	74.8	91.5
読むこと	86.1	86.8	96.7
言語文化と国語の特質	72.9	73.4	90.4

国語B

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	本校
話すこと・聞くこと	72.2	73.2	86.8
書くこと	36.7	39.0	52.6
読むこと	62.6	63.9	79.1
言語文化と国語の特質	—	—	—

・A問題は、全国平均、県平均を「読むこと」では10ポイント程度、その他の領域では20ポイント近く上回っており、どの領域も基礎的な力は定着していると考えられます。また、無解答率が全国や広島県に比べて大変低いことから、あきらめずに解答を書く意欲があると思われます。B問題でもいずれの領域においても10ポイント程度上回っていますが、資料を参考にして社会問題についての自分の考えを書く発問の正答率が低い状況にありました。

【課題】

- ・語彙力を問われる問題がまだ不十分だと思われます。語彙を増やすことは、読解力の向上につながりますので、さまざまな機会をとらえて「実際に使うことができる言葉」を増やす学習を取り入れたいと思います。また、社会問題に興味・関心を持ち、それに対する自分の考えを持つことは、「書く力」や「読む力」の前提となることなので、その意義や方法についても授業の中で触れていきたいと思っています。

数 学

【領域ごとの定着状況】

数学A

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	本校
数と式	67.7	67.2	92.2
図形	63.4	64.5	89.7
関数	61.7	62.0	90.9
資料の活用	63.0	62.5	90.4

数学B

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	本校
数と式	63.2	64.1	94.9
図形	39.0	39.9	81.4
関数	30.7	31.3	52.8
資料の活用	31.2	33.8	65.4

A問題の数と式の領域では、全国平均、県平均を約25ポイント上回り、ほとんどの領域で90%を越えており、概ね計算力、表現力は定着しています。図形領域の正答率がやや低いものの、全国、県平均に比べると、大きく上回っています。

B問題では、A問題以上の約30ポイント上回っており、自ら考え、問題解決していく力も定着していると考えられます。

【課題】

数学Bの関数の概念や、資料の活用についての定着がやや不十分のようです。記述式の問題に対する正答率が低く、解き方は理解できているが、考え方を説明できない生徒が多いようです。日々の授業の中で、説明する場面を設定していく必要があると思います。

また、A問題においては、益々の基礎学力定着を目指し、ドリルも取り入れながら、計算力の向上を目指したいと思います。

理 科

【領域ごとの定着状況】

理科

領域		平均正答率(%)		
		全国	県	本校
第1分野	物理的領域	48.9	47.7	72.2
	化学的領域	56.2	55.8	88.1
第2分野	生物的領域	62.2	60.9	85.7
	地学的領域	46.4	45.6	68.6

各領域とも、正答率は全国および広島県の正答率を上回っています。特に、「化学領域」では全ての項目が全国および広島県の正答率を上回っています。また、『知識』に関する問題の結果より、基本的な内容は定着しています。

【課題】

化学的領域や物理的領域と比較して、地学的領域が課題となりました。今後は、地学事象の空間的理解のために、ICTなどの教材を工夫することはもちろん、タイミングよく小テスト等を行い、知識と活用の定着を図りたいです。また、音さや風向計等の実物を用いて実験観察を行わせて、理解の深化にも努めます。